

令和7年度 第2回名寄市ゼロカーボンシティ推進委員会

日時：令和7年9月10日（水）18時00分～

場所：名寄市役所 名寄庁舎4階大会議室

1 開 会

2 議 事

（１）ゼロカーボンシティ名寄ロゴマークデザインの選考について
〔資料１－１〕、〔資料１－２〕

（２）なよろエコパートナー事業について〔資料２〕

（３）令和8年度実施事業の検討について〔資料３〕

3 そ の 他

今後のスケジュールについて

4 閉 会

〔会議資料〕

資料１－１ ゼロカーボンシティ名寄ロゴマークデザイン最終選考資料

資料１－２ 入賞候補作品一覧

資料２－１ なよろエコパートナー事業について

資料２－２ なよろエコパートナー事業実施要領（案）

資料２－３ なよろエコパートナー事業使用様式（案）

資料３ 令和8年度実施事業の検討について

「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン 最終選考

【選考について】

- (1) 選考する作品はロゴマークデザインの原案とし、デザイナーによる補正、修正を想定しています。
- (2) 本委員会にて最終選考を実施し、最優秀賞及び優秀賞作品を選定しますが、後日事務局にて、商標登録等の確認を行ったうえで採用決定となります。

【選考基準】

- (1) ゼロカーボンシティの実現を目指すシンボルとなるデザインであること
- (2) 名寄市の特色、地域性を反映した「名寄らしさ」のあるデザインであること
- (3) 分かりやすく親しまれるデザインであること
- (4) 縮小した場合であっても認識できる視認性の高いデザインであること
- (5) 応募者自らが考案・作成した未発表のオリジナル作品であること

【選考方法】

- (1) 38 点の作品の中から 6 作品を選定いただく。(事前に実施)
委員各自 6 作品を選び、投票用紙に○印を記入する。
- (2) (1) の結果を基に選考を行う。(委員会当日に実施)
作品の説明および選考基準に基づく審査により、最優秀作品 1 点と優秀作品 3 点を選定する。

【今後の予定】

10 月表彰式 17 時 00 分～ 名寄庁舎 1 階ロビー
※日程は受賞者決定後に調整

「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン 入賞候補作品

No.	票数	年齢	デザイン	作品の意図・コンセプト
1	8	49		ゼロカーボンから連想されるクリーンエネルギーと名寄のN、緑、水、天文台、星をイメージしました。 これからの世代に「星空がきれいに見える名寄の夜と、より良い地球環境を残したい」という思いです。
2	6	27		ゼロカーボンの推進でさらに自然豊かで美しい街、ひまわりで素敵な町になればいいなと思いデザインしました。
3	5	40		名寄市の自然の象徴である、アカゲラ、オオバナノエンレイソウを入れました。そんな名寄市の動植物たちと、これからも末永く共存していきたい、という思いを込めました。 また、名寄の市章が緑であること、自然の象徴が緑なので、緑色を多めに使っています。

「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン 入賞候補作品

No.	票数	年齢	デザイン	作品の意図・コンセプト
4	4	48		このロゴデザインは名寄市が掲げるゼロカーボンシティの未来像を象徴的に表現しました。中心にはゼロを象徴する円形を据え、その周囲を名寄市のひまわりの花びらで囲むことで、自然と地域性を強調しました。内部には名寄市立天文台きたすばるのシルエットを配し、星空と調和する姿を描くことで名寄ならではの自然との共生を表現しました。さらに足元には森林を配置し、再生可能エネルギーや持続可能な環境をイメージしています。
5	4	48		このロゴデザインは市の特色と調和させて表現しました。中央には「ゼロ」を象徴する円を配置し、その周囲をひまわりの花びらで囲むことで、名寄市の象徴的な自然と活力を示しました。
6	4	55		ゼロカーボンシティを目指す取り組みにより、地球温暖化を防止し、美しい名寄の自然や風景を守っていききたいというコンセプトで、名寄の夏の風物詩であるヒマワリをモチーフにしたデザインとしました。

「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン 入賞候補作品

No.	票数	年齢	デザイン	作品の意図・コンセプト
7	4	31		名寄のきれいな星空と特産品であるもち米など自然を守っていけるように夜空の下にある田んぼと〇（ゼロ）の真ん中にはもち米の形をイメージしてデザインしました。
8	3	65		〇の数字の上方に、CO2を吸収する植物の葉を配置し、〇の中に名寄を象徴する雪の結晶を入れました。〇の下方に、平原を吹く風をイメージした模様をデザインして入れました。数字の2に似せてあり、O2で生命の源である酸素になります。緑から水色に変わるグラデーションで永遠の美しい自然を表しました。文字の中の〇は、色を変えました。
9	2	42		名寄市が目指す「ゼロカーボンシティ」の宣言をイメージしたロゴです。「〇」の中には、川、雪、星のモチーフを描きました。川の流れは名寄市のイニシャル「N」にも見えるように配置し、市民や事業者、団体、行政など、地域を支えるすべての人の姿を重ねています。天塩川や名寄川の豊かな自然、名寄らしい雪景色、そして澄んだ夜空を、これからも守り続けたいという願いを込めています。気候変動が進むなかで、こうした風景を未来に残していくためには、日々の暮らしの中での省エネやごみの削減、環境に配慮した事業活動、地域ぐるみの取り組みが大切だと考えています。名寄市の自然と人の営みが、地域の輪を育んでいけるよう願いを込めたロゴです。

「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン 入賞候補作品

No.	票数	年齢	デザイン	作品の意図・コンセプト
10	2	16		ひまわりと星空をデザインに。
11	2	72		名寄の花 ひまわりを擬人化して大地を耕す姿を表現しました。 名寄は農業と森林の豊かな街ですので田畑を耕し森を大切にすることにより二酸化炭素の吸収を促進すると思います。 これがゼロカーボンシティーにつながります。
12	2	15		○名寄市のシンボル花であるヒマワリをモチーフにしました。 ○植物の光合成による二酸化炭素吸収と酸素供給の循環サイクルはゼロカーボン社会の成立にかかせないテーマととらえデザインしました。 (注)ヒマワリ花弁の?はカーボンを意味します。

「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン 入賞候補作品

No.	票数	年齢	デザイン	作品の意図・コンセプト
13	2	49		No.37～38 に記載
14	1	47		親しみやすくかわいらしい、好感度をもってもらえるようなイメージで考えました。色にもこだわりました。 名寄市のもち米の産地である特性を生かし、雪や米ぬかを利用したゼロカーボンの取組ができることを望みます。
15	1	13		私は名寄の自然あふれる景色、美味しい農作物やグルメが大好きです。いつまでもその景観や食の豊かさが続いていけるようにゼロカーボンを意識して、名寄の未来、地球の未来につなげたいという思いをこめてデザインしました。

「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン 入賞候補作品

No.	票数	年齢	デザイン	作品の意図・コンセプト
16	1	17		自然豊かな名寄と循環するエネルギーをイメージして、中心にNの文字を配置しました。また、名寄市は天塩川の恵みによる肥沃な土地であることから、河のイメージも加えています。 名寄市にしかできないゼロカーボンシティのシンボルとなればいいと思います。
17	1	48		本ロゴは「ゼロ」を基調に名寄市の森林とひまわりを融合させた名寄市の象徴的デザインに仕上げました。深いグリーンからゴールドへの美しいグラデーションは持続可能な価値ある名寄市の未来を表現しています。 内部の樹木は脱炭素への取り組みを示し、ひまわりの輝きが地域の誇りと市民の希望を象徴しています。
18	1	28		炭素の全てが悪ではなく、炭素との付き合い方を工夫しながら過ごせる環境を目指すことが名寄市を大事にすることにつながるという思いを込めたデザインにしました。

「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン 入賞候補作品

No.	票数	年齢	デザイン	作品の意図・コンセプト
19	1	11		なよろと名寄市民の人たちと名寄をゼロカーボンシティにするために書きました。
20	1	11		名寄市はもち米はくちょうもちの里で春と秋には白鳥も飛来します。ゼロカーボンシティのロゴマークで白鳥をイメージして作品にしました。
21	1	28		名寄の名産であるもち米の稲でゼロカーボンのOを表現しました。その中に、循環と炭素の2つを表現するCを書いています。 コンセプトは「自分の生活環境（もしくは社会）の中で炭素を循環（CO2の排出量と吸収量を差し引きゼロにする）させて外には出さない」です。

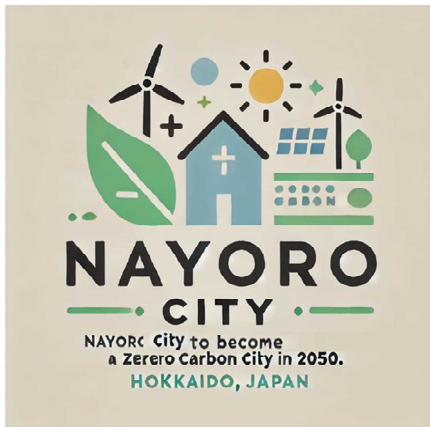
「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン 入賞候補作品

No.	票数	年齢	デザイン	作品の意図・コンセプト
22	1	46		炭素排出をあらわす上向きの矢印と、排出削減等をあらわす下向きの矢印が釣り合って都合ゼロ排出になるという「ゼロカーボン」の理念を、「斜線付きO」と名寄の「N」に類似させたフォントを用いて表現しました。 矢印は、代表的な炭素ガスである二酸化炭素をあらわす「C」「O」「O」を用いて意匠しました。
23	1	75		〇名寄市のシンボル花であるヒマワリをモチーフにしました。 〇植物の光合成による二酸化炭素吸収と酸素供給の循環サイクルはゼロカーボン社会の成立にかかせないテーマととらえデザインしました。 (注)ヒマワリ花卉の?はカーボンを意味します。
24	1	38		市民・事業者・行政が一丸となり取り組んでいく為、三つに分けました。 「星」、「ひまわり」、「市名となよろう」のイラストを入れて

「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン 入賞候補作品

No.	票数	年齢	デザイン	作品の意図・コンセプト
25	1	16		名寄のNとゼロカーボンのZを組み合わせて、下の白線は「市民」・「事業者」・「行政」をあらわしています。 色とイラストは夜空をイメージ
26	0	12		「名寄といたら」で出てくる、もち米（ブーツの部分）や星（ヘアピン）、ひまわり（ベルト・髪飾り）を入れたところ。あと髪色は名寄といたら緑な気がしたからなのと、服は星空の青をイメージした。 Are you ready? はゼロカーボンシティなんて言葉知らなかったから、今知ったから今からスタートしたいと思ったから。
27	0	8		名寄らしさを出すためにアスパラと雪とサンピラーをイメージしました。 二酸化炭素を減らす意味で森も描きました。

「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン 入賞候補作品

No.	票数	年齢	デザイン	作品の意図・コンセプト
28	0	39・6		ゼロから環境負荷低減の取り組みをしようということでひまわりの種をモチーフにしました。 水を上げて市民の意識を育てていくこと。動物たちが戻ってくる環境ということで旧名寄市・旧風連町のアカゲラやフクロウを使いました。
29	0	56		名寄市の環境目標を象徴するような、風車・太陽・葉・住宅といった要素を、やさしい色合いと簡潔な形でイメージしました。 さらに、目標である 2050 年をキーワードに掲げあえて英語表現をすることで国内外に「ゼロカーボンシティ名寄」を発信することを意図しながら表現してみました。
30	0	8		名寄の有名な花はひまわりなので、ひまわりの種の部分を「X」のデザインにし、二酸化炭素の排出する車や工場に「X」をしました。 きれいな花が咲き続けられる名寄市になるように願いを込めました。

「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン 入賞候補作品

No.	票数	年齢	デザイン	作品の意図・コンセプト
31	0	57		なよろ市の「な」が資源循環していくさまを表現しました。
32	0	14		コンセプトは「名寄市の未来」です。望遠鏡は、名寄の未来を見ている感じにしました。工夫したのは下のほうの「0」という文字の中にハートの木を描いたことです。ハートの木を描くことで名寄を大切にという思いを込めてみました。ほかにも稲や星や、少しですが雪なども描いて、名寄らしさを表現してみました。一番見てほしいのは、バランスや名寄らしさを表現したところです。
33	0	38		名寄のひまわりをイメージしました。

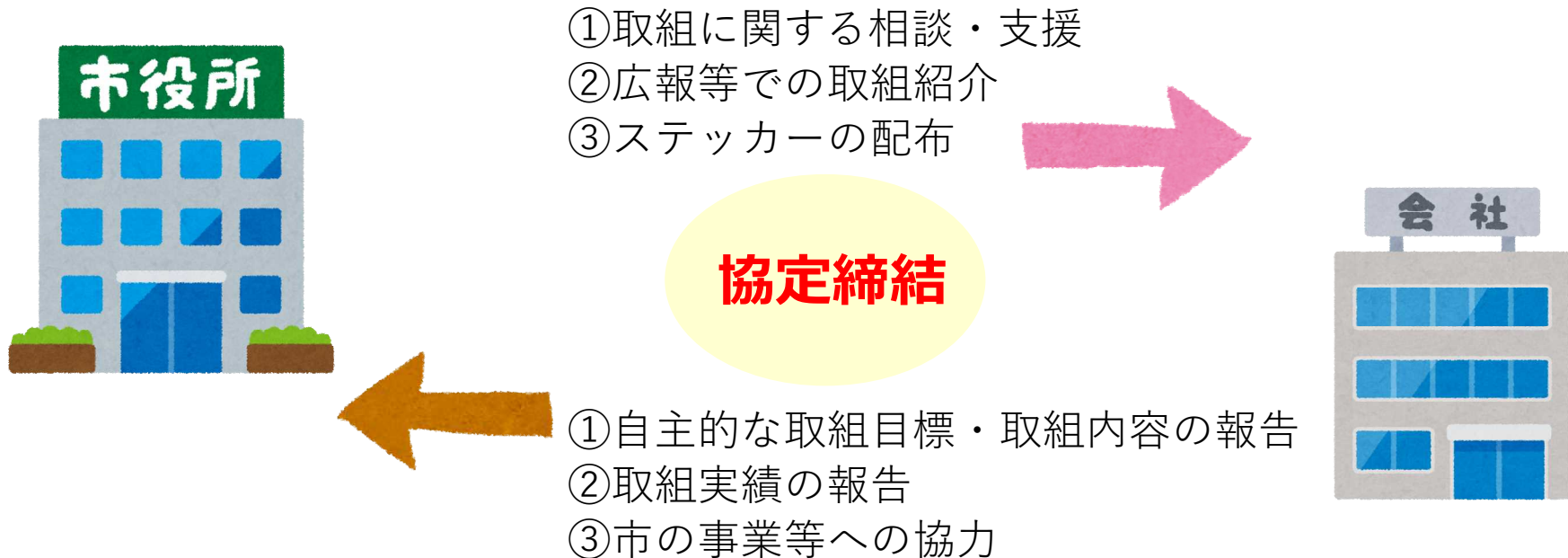
「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン 入賞候補作品

No.			デザイン	作品の意図・コンセプト
34	0	64	Zeroカーボンシティ Nayoro 	名寄らしさを意識しながらも、名寄市の脱炭素化が地球全体への貢献につながっているということで、地球をイメージしながらゼロカーボンを表現しました。
35	0	35		コメントなし
36	0	35		コメントなし

「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン 入賞候補作品

No.			デザイン	作品の意図・コンセプト
37	0	49		本ロゴマークは、名寄市のゼロカーボンシティへの取り組みを象徴する「希望」と「地域性」を視覚的に表現したものです。 名寄市の象徴である「ひまわり」を太陽として描き、再生可能エネルギーや自然との共生を表現しています。 その周囲に広がる星々は、名寄の澄んだ星空をモチーフにしており、環境の美しさを守るべき自然を象徴しています。 「N」「C」「O」の文字にはそれぞれ意味を含めています。
38	0	49		「N」は名寄（Nayoro）を示し、「C」「O」はCarbonとZero（O）を表し、「N」と「O」で「NO!」という強いメッセージを含め、カーボンゼロへの意思を明確にしています。 さらに、虹をイメージした黄色い弧を加えることで、未来への架け橋としての希望と前向きなエネルギーを表現しました。 全体として、名寄市の自然・地域性・環境への想いを一つの形にまとめたロゴマークです。

内容：市と事業者で協定を締結し、事業者から自主的な目標と目標達成に向けた取組内容の報告を行い、市は事業者の取組の紹介やステッカーの配布を行う。



スケジュール： 9月10日 委員会で事業詳細確認
 10月～ 事業者募集開始（10月末×）
 11月中旬 協定書締結・事業者向け説明会実施
 11月末 事業計画の提出
 3月末～ 事業報告

事業の流れ

- ①申込書提出
→申込書を提出
- ②協定を締結
→協定書を事業者と締結
- ③市が開催する説明会へ参加・ステッカーの配布
→参加事業者へ事業内容や名寄市の施策の説明
ロゴデザインのステッカーの配布（シール式、マグネット式）
- ④計画書の提出
→計画書で事業所の目標の設定・取り組み内容の決定
- ⑤事業計画に基づく事業の実施
- ⑥事業に関する相談等の支援
→事業実施にかかる相談等を随時受け付け
- ⑦取り組み実績の報告
→資料2-5の報告書の提出
- ⑧広報等で取組の周知
→⑥の報告を基に、市広報・ホームページ等の媒体で周知
- ⑨その他市の事業への協力
→名寄市で行うイベント等の事業への参加の要請

令和8年度以降、更なる取組として、参加する事業者のメリットが大きくなるための要素を追加し、事業の継続を図る。

取組イメージ① エコパートナー大賞

- ・参画いただいたエコパートナーの取り組みの中から優れた取り組みを選定し、表彰を行う。受賞した事業者には更なるPR等の機会を検討する。また、受賞した事業所への副賞も検討する。

取組イメージ② 市内イベントへのPRブースの出展

- ・名寄市内で実施されるイベントに合わせて、事業者の取り組みにかかるPRブースの出展の検討。EVの試乗などゼロカーボン施策に関する内容と合わせて実施をしたい。

取組イメージ③ 事業者の省エネ診断受診支援

- ・エコパートナー事業者が実施する省エネ診断の受診にかかる費用の支援を検討。

参画いただくエコパートナー事業者のメリットとなる取り組みについて令和8年度以降の予算化を検討

○佐賀県佐賀市で実施している「ゼロカーボンシティさがし推進パートナー」で効果的な取り組みを実施する推進パートナーの表彰を実施

ゼロカーボンシティさがし推進パートナー制度

先進的、効果的な取り組みを実施する推進パートナーの表彰を行いました。

[home](#) / [新着情報](#) /

先進的、効果的な取り組みを実施する推進パートナーの表彰を行いました。

佐賀市とともに取り組みを進めていただく「ゼロカーボンシティさがし推進パートナー」として表明いただいた事業者の皆様の中から、特に他の事業者様の参考となるような素晴らしい取り組みを実施されている事業所の表彰を行いました。



株式会社 KMTec 様

他の事業者様にも取り入れやすい、モデルとなるような取り組みを行う事業所に贈られる「グッドモデル賞」は「株式会社KMTec」様が受賞されました。

【特に評価された点】

- ・不在配達防止のため会社での個人荷物の受け取り推奨
- ・社員にマイボトルを支給、弁当持参への手当支給
- ・通勤時の公共交通機関利用及び徒歩推奨（徒歩での通勤手当支給）



株式会社KMTec様の取り組み紹介

株式会社シグマ 様

先進的な取り組みに積極的に挑戦されている事業所に贈られる「グッドチャレンジ賞」は「株式会社シグマ」様が受賞されました。

【特に評価された点】

- ・エコアクション2.1認証により環境経営の継続的改善を実施
- ・事業者への省エネ診断・省エネ設備導入サポート
- ・スマートホームによる生活支援及び省エネサポート



株式会社シグマ様の取り組み紹介

○なよろ産業まつりにおける市廃棄物対策担当のブース出展の様子



○佐賀県佐賀市で実施している「ゼロカーボンシティさがし推進パートナー」で効果的な取り組みを実施する推進パートナーの表彰を実施

小樽市 省エネルギー診断 補助金



ゼロカーボンシティ小樽市の実現に向けて、省エネ診断等を受診する事業者とその診断費用を補助し、省エネの取組を促進します。

対象施設 小樽市内の工場・倉庫・事務所・病院・福祉施設・宿泊施設・ビルなど
(対象事業となる省エネ診断を受診できる小樽市内の施設全て)

次の①～③の省エネ診断であって、小樽市内の事業所に対する省エネ診断等

- 対象事業**
- ① (一財) 省エネルギーセンターが実施する省エネ最適化診断・ステップアップ診断
 - ② (一社) 環境共創イニシアチブが実施する省エネ診断・伴走支援
 - ③ 省エネ・地域パートナーシップ制度におけるパートナー省エネ支援機関が実施する省エネ診断

対象経費 省エネ診断等に係る診断料
(消費税及び地方消費税・印紙税・振込手数料は除く。)

補助金の額 省エネ診断等に係る診断料全額 (※1事業者につき上限5万円)



■申請期間■
令和7年4月15日(火)～
令和8年2月27日(金)

詳細は、小樽市ホームページへ

(二次元コード)

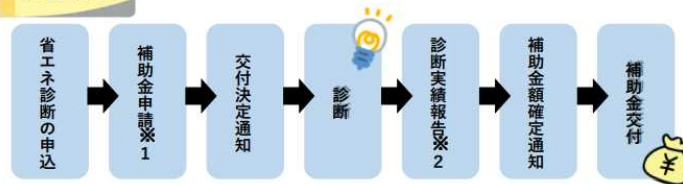


問合せ先 小樽市生活環境部環境課 ☎0134-32-4111

小樽市 省エネ診断補助金			
対象事業			
診断機関	診断名	診断料金	二次元コード
一般財団法人 省エネルギーセンター	● 省エネ最適化診断 ● ステップアップ診断	● 省エネ最適化診断 7,920円～25,850円 ● ステップアップ診断 16,940円	
一般社団法人 イニシアチブ	● 省エネ診断 ・ウォークスルー診断 (設備単位プラン、工場・事業所全体プラン) ・IT診断 ● 伴走支援	● 省エネ診断 ・ウォークスルー診断 ① 設備単位プラン 5,720円/1設備 (最大2設備まで組合せ可能) ② 工場・事業所全体プラン 15,290円～48,840円 ・IT診断 最大220,000円 ● 伴走支援 最大48,840円	
パートナー 省エネ支援機関	パートナー省エネ支援機関へ直接お問合せください。		

※各診断の詳細は、診断実施機関までお問合せください。

手続きの流れ



■市に提出が必要な書類■

- ※1
- ① 小樽市省エネルギー診断補助金交付申請書 (様式第1号)
 - ② 誓約書兼同意書 (様式第2号)
 - ③ 省エネ診断等の申込みを証する書類の写し
- ※2
- ① 小樽市省エネルギー診断実績報告書 (様式第6号)
 - ② 省エネ診断等の支払いを証する書類の写し
 - ③ 省エネ診断等結果報告書の写しなど
 - ④ 振込先通帳の写し

■申請書類提出先■

〒047-8660
小樽市花園2丁目12-1
小樽市生活環境部環境課
※郵送又は持参により提出してください。
※様式は、小樽市ホームページからダウンロードしてください。

交付申請は先着順に受け付け、予算額に達した時点で受付を終了します

問合せ先 小樽市生活環境部環境課 ☎0134-32-4111 ■kankyo@city.otaru.lg.jp

(趣旨)

第 1 条 この告示は、名寄市（以下「市」という。）と事業者とがパートナーシップを形成して地球温暖化問題、エネルギー問題及びごみ問題等の環境課題の解決に向けた取組を実施し、ゼロカーボンシティの実現を目指すことを目的として、協調して行なうなよろエコパートナー事業（以下「エコパートナー事業」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(対象要件)

第 2 条 エコパートナー事業に参画する事業者（以下「エコパートナー」という。）の対象要件は、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を率先して実施している事業者のうち、次の各号に掲げる条件を全て満たす事業者とする。

- (1) 名寄市内に事業所等を有すること。
- (2) 名寄市暴力団排除条例（平成 25 年名寄市名寄市条例第 26 号）第 2 条第 1 号の暴力団又は同条第 2 号の暴力団員及びこれらと密接な関係を有するものでないこと。
- (3) 特定の政治、思想、宗教等の啓発をエコパートナー事業参画の目的としていないこと。
- (4) 市税を滞納していないこと。
- (5) 法令違反その他参画するにふさわしくない事実がないこと。

(協定の締結)

第 3 条 エコパートナー事業に参画しようとする者は、なよろエコパートナー事業参画申込書（別記様式第 1 号）を市長に提出するものとする。

- 2 市長は、前項の申込があったときは、協定を締結し、エコパートナー事業に参画することを許可するものとする。
- 3 協定の有効期間は、協定締結の日から当該年度の 3 月 31 日までとする。ただし、本協定の有効期間が満了する 1 か月前までに、市又はエコパートナーが申出を行わないときは、有効期間が満了する翌日から 1 年間更新され、その後も同様とする。

(エコパートナーの取組)

第 4 条 市長は、エコパートナーに対し、次に掲げる取組を求めるものとする。

- (1) なよろエコパートナー事業計画書（別記様式第 2 号）及びなよろエコパートナー事業実績報告書（別記様式第 3 号）の提出
- (2) 市が実施するゼロカーボン推進に係る事業等に可能な範囲で協力及び参加

(市の役割)

第5条 市は、市域における温室効果ガス排出量の削減及びごみの減量等の環境課題に対し率先して取り組むとともに、前条に規定するエコパートナーの取組に対して次の各号に掲げる支援を行うものとする。

(1) エコパートナーの取組内容及び実績を市民に周知するために、市の広報媒体への掲載などを実施

(2) エコパートナーであることを示す表示ステッカー等の作成及び配布

(3) 前2号に掲げるもののほか、エコパートナーが行う取組に対する支援及び協力

(協定の解除)

第6条 市は、エコパートナーが、次の各号のいずれかに該当する場合には、協定を解除することができる。

(1) 第2条の条件を満たさなくなった場合

(2) その他市長がエコパートナーとして不適当と認めた場合

(庶務)

第7条 エコパートナー事業に係る庶務は、総合政策部総合政策課において処理する。

(委任)

第8条 この告示に定めるもののほかエコパートナー事業の実施に関して必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、令和7年10月1日から施行する。

(告示の失効)

2 この告示は、令和13年3月31日限り、その効力を失う。

別記様式第 1 号（第 3 条関係）

年 月 日

なよろエコパートナー事業参画申込書

名寄市長 様

申込者 住所

事業者の名称

代表者の職 氏名

印

次のとおり、なよろエコパートナー事業への参画を申し込みます。

所在地		従業員数	
担当者名		電話番号	
FAX 番号		メールアドレス	
業 種 (事業内容)	(例) 自動車、機械、電気・電子、化学・プラスチック・医薬品、金属加工、製紙、紙加工、木材・繊維、食品、環境・エネルギー、情報・通信、建設、金融、小売・卸、サービス		
対象要件	以下の事項について相違ないことを確認します。 ☐ 暴力団等及びその関係者に該当しない ☐ 特定の政治、思想、宗教等の啓発をエコパートナー事業参画の目的としていない ☐ 市税を滞納していない ☐ 法令違反その他参画するにふさわしくない事実がない		

なよろエコパートナー事業に関する協定書

(趣旨)

第1条 名寄市（以下「市」という。）と〇〇〇（以下「事業者」という。）はパートナーシップを形成して地球温暖化問題、エネルギー問題及びごみ問題等の環境課題の解決に向けた取組を実施し、ゼロカーボンシティの実現を目指すことを目的として、協調して行うなよろエコパートナー事業（以下「事業」という。）に関する協定を締結する。

(定義)

第2条 この協定におけるエコパートナーとは、事業者をいう。

(エコパートナーの取組)

第3条 事業者は、エコパートナーの活動として、次に掲げる取組を行う。

- (1) 自主的な目標と目標達成に向けた取組内容の決定及び市長への報告
- (2) 前号の取組に係る年度ごとの取組実績の市長への報告
- (3) 名寄市が実施するゼロカーボン推進にかかる事業等に可能な範囲で協力・参加

(名寄市の役割)

第4条 市は、市域における温室効果ガス排出量の削減及びごみの減量等の環境課題に対し率先して取り組むとともに、前条各号に掲げるエコパートナーの取組に対して次に掲げる支援を行うものとする。

- (1) エコパートナーの取組内容及び実績を市民に周知するために、市の広報媒体への掲載などを実施
- (2) エコパートナーであることを示す表示ステッカー等の作成及び配布
- (3) 前2号に掲げるもののほか、エコパートナーが行う取組に対する支援及び協力

(有効期間)

第5条 この協定書の有効期間は、締結日から令和8年3月31日までとする。ただし、有効期間満了の日の1か月前までに、市・事業者いずれからも特段の申出がないときは、更に1年間更新するものとし、その後も同様とする。

(協定の解除)

第6条 市は、事業者が次の各号のいずれかに該当する場合には、協定を解除することができる。

- (1) 法令に違反した場合
- (2) その他協定を締結するのに適当と認められなくなった場合

(協定に定めのない事項)

第7条 この協定に定めのない事項については、必要に応じて市・事業者両者で協議を行い、定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、市・事業者両者による記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

市 名寄市大通南1丁目1番地
名寄市
名寄市長

事業者 〇〇〇

〇〇〇
2

なよろエコパートナー事業計画書

年 月 日

名寄市長 様

年度の事業計画について報告いたします。

1 事業者名

(フリガナ)	
企業・団体名	

2 取り組み目標

--

3 取り組み内容

事業所内で使用する燃料、電気等の使用削減に関する報告 (必須事項)	種別	年度実績	年度の目標 数値	削減率	温室効果ガス削減量 (t-CO2)
	電気 (kWh)				
	重油 (L)				
	灯油 (L)				
	軽油 (L)				
	ガソリン (L)				
	LPG (Kg)				

なよろエコパートナー事業実績報告書

年 月 日

名寄市長 様

なよろエコパートナー事業実施要綱第4条の規定により、取組実績を報告いたします。

1 事業者名

(フリガナ)	
企業・団体名	

2 取り組み内容

事業所内で使用する燃料、電気等の使用削減に関する報告 (必須事項)	種別	年度実績	年度実績	削減率	温室効果ガス削減量 (t-CO2)
	電気 (kWh)				
	重油 (L)				
	灯油 (L)				
	軽油 (L)				
	ガソリン (L)				
	LPG (Kg)				

その他実施する脱炭素社会達成に向けた取り組みについて (任意事項) ※ 年度中に実施した内容を記載してください。	※取り組みの分野について、□に「✓」を入れてください。 □温室効果ガス排出量の削減目標の公表に関すること。 □使用する自動車から排出される温室効果ガス削減に関すること。 □社員又は従業員の被服（クールビズ・ウォームビズ）に関すること。 □社内の温度上昇抑制（グリーンカーテン等）に関すること。 □再生可能エネルギー等の利活用及び導入拡大に関すること。 □省エネルギー診断の実施に関すること。 □社員又は従業員への環境教育の推進に関すること。 □脱炭素技術に関する研究会・勉強会への参画に関すること。 □必要な備品等のグリーン購入に関すること。 □廃棄物の発生削減に関すること。 □資源の再利用に関すること。 □森林の保全、再生及び活用に関すること。 □その他（ ）
取り組み実績	※取組の期間、対象、回数、成果等、具体的に記入してください。

添付書類

取組内容・成果に関する参考資料（写真など）※無ければ提出不要

なよろエコパートナー事業 取り組み内容例

エコパートナーの取り組みとして、計画書に記載の項目の中から、最低1つ以上の取り組みの実施をお願いします。

取り組み内容の項目と具体的な事例

①温室効果ガス排出量の削減目標の公表に関すること。

●自社のホームページ等で削減目標の公表を行うなど

③社員又は従業員の被服（クールビズ・ウォームビズ）に関すること。

●空調に頼らず軽装や重ね着の心がけを事業所で徹底するなど

②使用する自動車から排出される温室効果ガス削減に関すること。

●社用車等の利用を控え、徒歩・自転車・公共交通機関などによる移動を心がける

●電気自動車や燃料電池自動車の導入

④社内の温度上昇抑制（グリーンカーテン等）に関すること。

●グリーンカーテンや遮熱カーテンの設置

●遮熱シートや断熱材の施工

⑤再生可能エネルギー等の利活用及び導入拡大に関すること。

- 太陽光パネルの設置し、発電電力を自社で使用
- 再生可能エネルギー由来電力の小売電気事業者等との契約など

⑥省エネルギー診断の実施に関すること。

- 自社で省エネルギー診断を実施する

⑦社員又は従業員への環境教育の推進に関すること。

- 従業員に対して実施する地球温暖化問題などに関する教育など
- 脱炭素に関する研究会・勉強会等への参加

⑨省エネ性能の高い設備・機器の導入

- LED照明の導入
- エネルギー効率の良いエアコン・給湯設備等の購入
- ハイブリット重機等の導入

⑨必要な備品等のグリーン購入に関すること。

- 製品・サービス等の購入する際に環境への負荷が少ないものを選ぶ「グリーン購入」の推進

⑩廃棄物の発生削減に関すること。

- 排出される廃棄物の減量化に向けた取り組み
- ペーパーレス化の推進など

⑪資源の再利用に関すること。

- 不用品をフリーマーケットなどへ出品
- プラスチック製品を使用した場合の分別・リサイクルの徹底など

⑫森林の保全、再生及び活用に関すること。

- 植樹活動や森づくり活動の実施
- NPO等で行う森林保全活動への支援・参加など

1 事業概要

名寄市民を対象に前年同月と比較して、電気使用量を削減できた場合、削減率に応じてヨロカポイントを付与する事業を実施する。（定員は100名を想定）

2 事業の目的

- ・ 名寄市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、市民へのゼロカーボンに対する意識醸成のために、広報による省エネ情報の連載を継続しているが、なかなか市民には意識が根付いていないのが現状である。
- ・ ゼロカーボンシティ推進委員会でも市民を巻き込んだ事業の実施が求められている。
- ・ 市民のみなさんに日常生活の中で省エネ等の意識を持っていただける事業の実施が必要。

3 事業実施で見込める効果

- ・ これまで興味関心がなかった市民に参加いただくことで楽しみながらゼロカーボンに対する意識を持っていただく機会となる。
- ・ ゼロカーボンチャレンジャーに登録いただいた参加者には説明会を実施し、名寄市が実施するゼロカーボンの施策について知っていただく機会とする。
- ・ 事業は継続的に実施し、毎年度参加者を募集することで、多くの市民に参加いただける機会を創出する。
- ・ 家庭部門におけるCO2削減量を見える化する。

4 ポイントの設定

- ・ 前年同月比との削減率に応じたポイントを設定
- ・ 7月～3月の9か月間実施し、最終月の翌月に9か月分のヨロカポイントをまとめて付与
- ・ 結果報告を行った参加者には削減率に関わらずヨロカポイント100ポイントを付与

削減率ごとのポイント（最大9,000P）

	2%未満	2%以上 5%未満	5%以上 10%未満	10%以上
電気	0P	100P	500P	1,000P



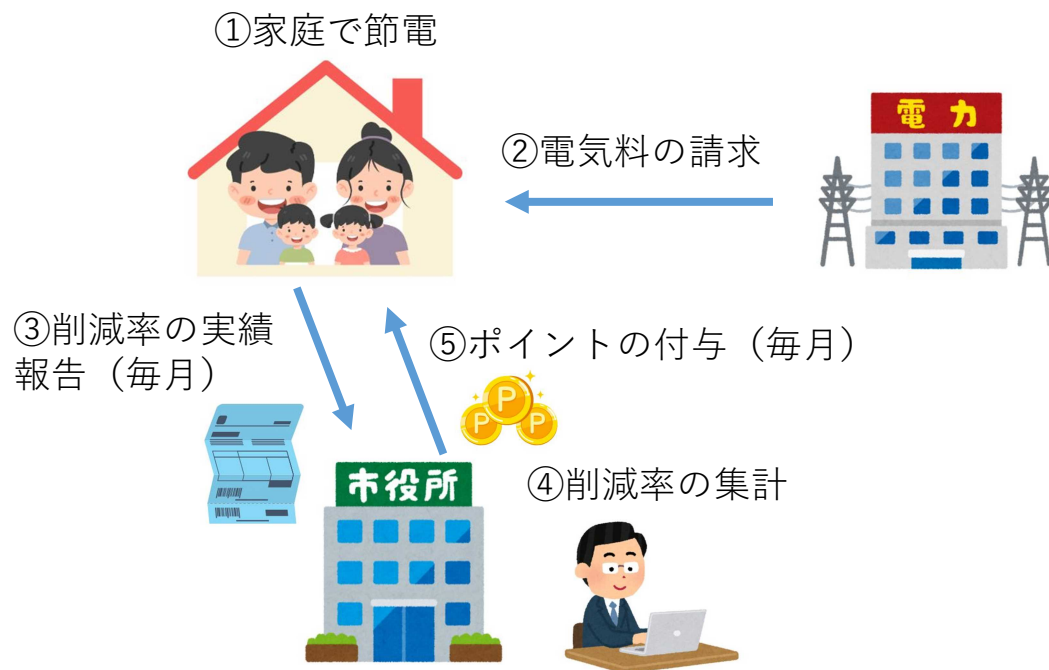
参加ポイント（最大900P）

毎月報告ごとに
100P

5 実施スケジュール

令和 8 年	4 月～ 5 月	・ 参加者の募集 ・ 参加者抽選
	6 月	・ 参加者向け説明会
	7 月～ 3 月	・ 事業期間（対象月の翌月に実績報告→ポイント付与）
令和 9 年	4 月	・ R8年度事業終了

6 実施フロー



- ①各家庭で節電し、前年同月と比較して電気料削減を目指す
- ②電気料の請求明細等で削減率を確認
- ③専用フォームで前年同月・当月の明細等を添付し、実績報告
- ④市役所で削減率を記録
- ⑤削減率・報告回数に応じて4月にヨロカポイントを付与

7 予算額

総額：1,010千円

【内訳】

削減ポイント分：1,000円×100人×9か月＝900,000円

参加ポイント分：100円×100人×9か月＝90,000円

ポイント付与手数料：990,000ポイント×2％＝19,800円